

旧村川別荘だより

134号



平成30年5月24日発行
旧村川別荘市民ガイド事務局
教育委員会 文化・スポーツ課
当：木村、田中、手嶋、今野
〒270-1166
我孫子市我孫子 1684 番地
TEL.04-7185-1583 (直通)
E-mail:abk_bunka@city.abiko.chiba.jp

月例会が開催されました

5月1日(火)、ゴールデンウィークの真ん中に月例会を行いました。今回から新たに今野が加わりました。新規採用で分からないこともたくさんあります。前からお話ししていた方も、初めての方もよろしくお願ひ申し上げます！

月例会では、シフト調整とともに今年も母屋が散歩市の会場となることをお伝えしました。6月3日(日)まで行われます。何かお気づきの点があれば、事務局までお知らせください。

井上家資料の整理について

今回は、昨年度末に刊行された『井上家資料目録』についてお話ししました。

井上家は布佐地区に江戸から続く名主で、手賀沼干拓を行っていました。その井上家を整備するにあたって、家の整備はもちろんですが、井上さんから寄贈していただいた文書などの資料を整理する必要性がありました。その総数は約18,000点！だいたいは紙資料ですが、書籍、民具などさまざまなものが記録されました。その記録方法、記録した資料などをご紹介します。

●なぜ、資料を整理するの？

目録にしなれば、その資料の存在が分かりません。図書館で本を検索するように、資料を検索できる状態にしておかないと、活用することはできませんよね。そのため、みんなが使えるようにデータにしておく必要があります。

●どうやって資料を整理するの？

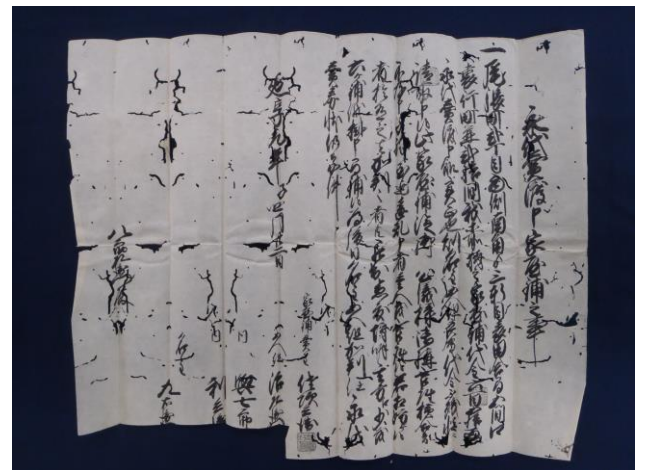
まず、現状の把握をするため、写真を撮ります。そして、運び出すため、順番に資料を箱に詰めていきます。このとき順番にする理由は、…例えば、みなさんは請求書など一括で保存したりしませんか？昔の人も同じで、大切な書類を年代順に並べるよりも、同じ

種類でまとめたりしています。そのため、置いてあったとおりに箱詰めをします。

その後、一点ごとや、一つのまとめりごとに資料を封筒に入れ、その資料が特定できるように資料に名前をつけたり、作られた年代や作った人を確定したりします。

そして、その内容を表にして、やっと目録が完成するのです！！今回の目録は全3冊860ページになりました。それでは、今回整理した資料を少しご紹介しましょう。

●文書資料より



紙資料の場合は、「資料」とも書きますし、「史料」とも書いたりします。史料と書かれていると紙資料だな。と分かります。

上の写真は井上家の屋敷が江戸にあった時代にできた文書で、江戸の屋敷を売り渡したことがわかります。井上家には手賀沼干拓に関する資料がたくさんありますが、一部江戸に住んでいた時の資料も残っています。

●美術関係の資料より

井上家は、新しい家を幕末に建てたおり、交流のある絵師を呼んで、襖などに絵を書いてもらいました。その絵師の絵は軸としても残されています。

その他に明治になると家人の中に浮世絵を集める趣味の方がいたらしく、367点の浮世絵が見つかりました！内容は、江戸時代の浮世絵が少しと、明治以降の役者絵が多数見つかりました。早稲田大学にある演劇博物館では、数多くの浮世絵が保存されていますが、演劇博物館でも保存されていない浮世絵も少しありました。

保存状態は良い物と悪いものがあり、すぐに展示することは難しいですが、少しずつ修復をして展示していきたいと思っています。



井上家で見つかった浮世絵



月例会では、修復した浮世絵も一部ご紹介しました。上の写真は、修復前の浮世絵です。下の写真は、修復した浮世絵です。

上の写真の右端の浮世絵になりますね。左上の部分が欠けていましたが、和紙が充てられているのが分かります。基本的に修復は保存に適した形に直すものなので、掛けている部分を着色し、作品に手を加えるようなことはあ



りません。

●民具

井上家には名主であったことを示す袴（かみしも）や、米を貯えるための米蔵の鍵、手賀沼干拓事業を行う時に使った事務用品などが残されていました。このことから、江戸から近現代に至るまでの長期間、手賀沼干拓を行った中心人物として活躍したことが分かります。



袴（上）、蔵の鍵（中）、事務用品（下）

次回の月例会は・・・

次回は平成30年6月1日（金）9時30分から新館で行います！！よろしくお願い申し上げます。